

河南町 橋梁長寿命化修繕計画



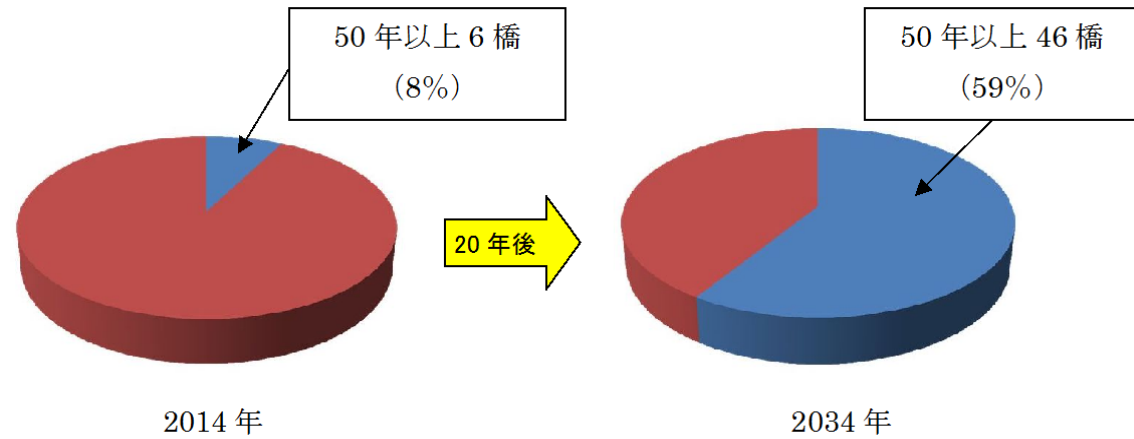
河南町のカナちゃん

橋梁について点検を行い、損傷の程度を調べて修繕の時期・費用について計画しました。

背景・目的

○ 河南町が管理する町道に架かる橋梁は78橋あり、このうち建設後50年を超える高齢化橋梁は、2014年時点で6橋(全体の約8%程度)に過ぎませんが、20年後には46橋(全体の59%)に達します。その後は高齢化が進展し、一斉に架け替え時期を迎えることとなり、短期間に大きな財政負担が生じることになります。

○ このような状況を踏まえ、河南町では、定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な補修および計画的な架替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の補修・架替えに係る費用の縮減を図りつつ、予算の平準化を図り、道路ネットワークの安全性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定しました。



長寿命化修繕計画の方針

持続的なマネジメントサイクルの確立

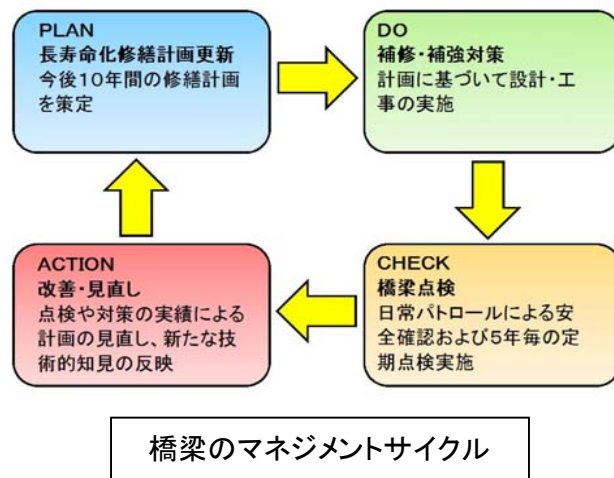
計画・修繕・点検・改善を定期に実施し、マネジメントサイクルを定着させます。

橋梁修繕計画による効率的な工事の実施

効率的かつ計画的に工事を実施することにより、維持修繕にかかる費用を縮小します。

日常的な予防保全への取り組み

道路パトロール等により異常の早期発見に努めます。

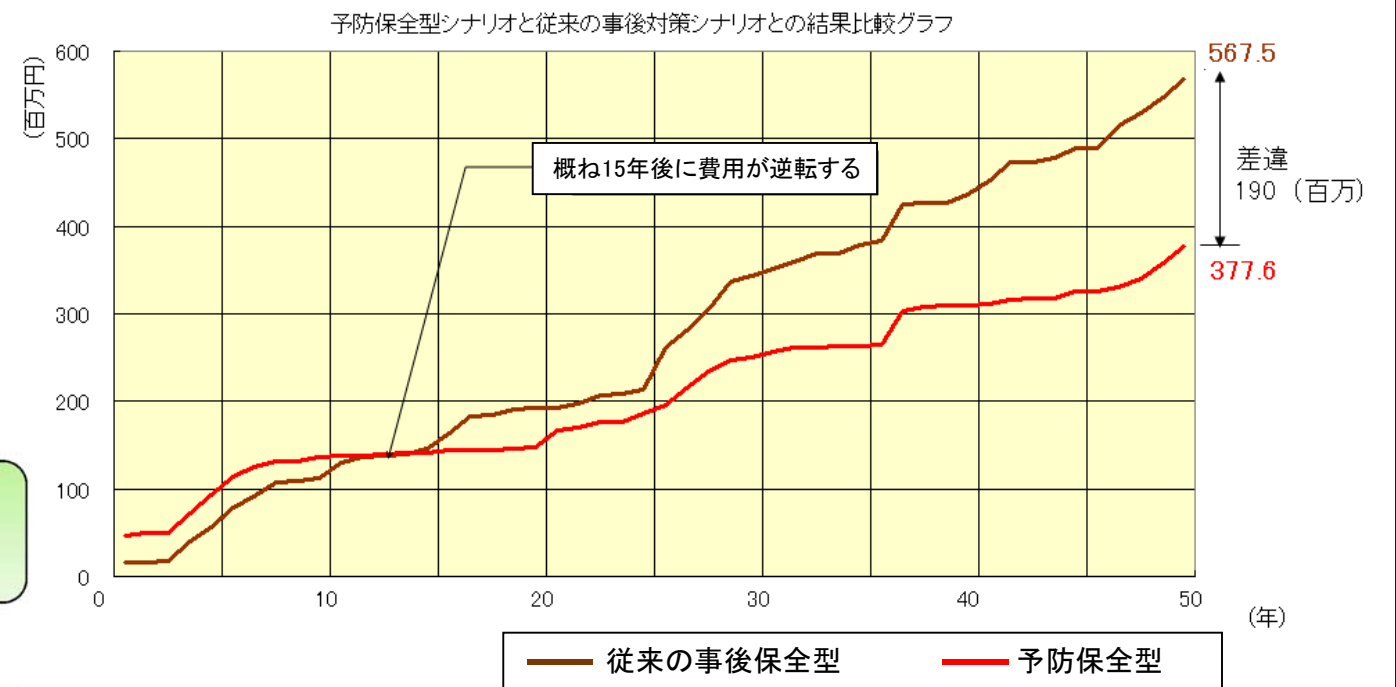


長寿命化修繕計画による補修

日常のパトロールや定期点検の結果をもとに修繕・補強などの計画を立てます。策定した計画に基づき、対象となる橋梁について塗装の塗り替えや傷んだ箇所の修復・取りかえなどを順次実施します。修繕・補強等を計画的かつ適切に行えば、橋梁の寿命を延ばすことができます。

計画の効果

長寿命化の修繕計画により計画的に修繕・架け替えを行うと、その効果は平成26年度の試算では、今後50年間で1.9億円程度の費用の節約が可能です。また、橋梁の寿命も延長でき、適切に管理すれば100年以上に延ばすことも可能です。傷んでいる箇所を早期に発見し対処することで、補修の範囲や方法、材料費なども少なくなり、下図のように費用を節約することができます。



ご意見を頂いた学識経験者

「橋梁長寿命化修繕計画」の策定には、橋梁のマネジメントの専門家として近畿大学 理工学部 社会環境工学科 米田昌弘 教授、同 東山浩士 准教授よりアドバイスを頂いております。

